

共進会結果報告
11月11日、土佐町の嶺北家畜市場で和牛改良の成果を競う第48回嶺北畜産能力共進会が開催され、畜産農家の「自慢の牛」が集合しました。審査の結果、久保内清氏(合)の出品牛「第2221みはる」「第262みはる」が母系牛群(姉妹ま



おもい、みつけた!
11月7日、町内3保育所の年長さんと小学校1年生が、一緒にいもほりを行いました。場所は杉の永野隆文さんの畑で、つる植えも自分たちで行ったものです。
子どもたちは、慣れないスコップでの作業に悪戦苦闘。1年生が年長さんをリードしながら仲良く競い合って掘り出していました。



梶ヶ森で考える山村の今と未来
11月16日、梶ヶ森から山村の今と未来を考える」と題した講演が山荘梶ヶ森で行われました。講演は2部に分かれて行われ、まず京都大学の秋津元輝教授が、世界における農業の視点から日本の農村の持続可能性を考える内容の講演を行い、早稲田大学の宮口侗迪名誉教授が、山村が生まれた背景とそこで生きる意味、そして「時代」に合った在来住民と移住者による地域づくりの可能性についての講演でした。質疑応答の時間も予定を大きく超え、参加者の熱い意見が飛び交っていました。



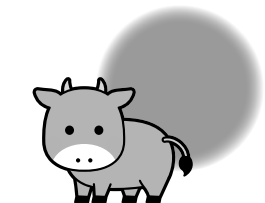
京都大学秋津教授



早稲田大学宮口名誉教授



たは親子で2頭1組の部で優良賞を受賞しました。おめでとうござい
ます。
永瀧神楽保存会、幣(のさ)の舞、双刃(もろは)の舞、扇芸(へぎ)の舞、獅子の舞を披露し、双刃の舞や扇芸の舞で、採り物(手に持つ道具)を持ったままでんぐり返りのしぐさをした際など、会場からは盛大な拍手が送られていました。



公共交通の見直しを行っています

11月12日、第1回大豊町公共交通検討委員会が開かれ、町内における今後の公共交通のあり方が検討されています。

現在検討されている主な案

- ◆ 町民バス立川線・西峰線について、朝と夕方の便をそれぞれスクールバスと統合し、昼の便は減便する。
- ◆ 町民バス西峰線について、日曜・祝日は運休し、ふれあいセンターまでを大豊町中学校まで延伸する。

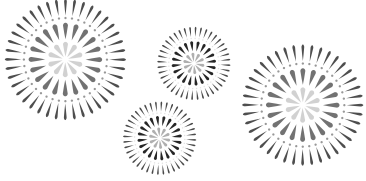
利用者の減っている公共交通を効率的かつ恒久的に維持するため、これから検討を続けていきます。皆さまのご意見をお聞かせください。



まちのできごと



「岩原灯りの里」開催
10月20日、延期となっていた第9回岩原灯りの里が開催されました。少し寒くなってきた中での開催でしたが、会場には町内外から多くの方が来場し、田楽などを肴にお酒を楽しんだり、提灯の幻想的な灯りや大輪の花火に歓声を上げたりしていました。

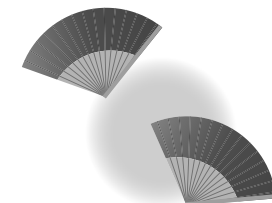


移動入浴車が寄付されました
JA高知県とJA共済連高知県本部の協同による移動入浴車の寄付があり、このたび10月24日、受納式が行われました。
これは、大豊町社会福祉協議会の移動入浴車が老朽化していたことを受け、町がJA高知県に要

中国・四国ブロック民俗芸能大会に出演!
10月27日、永瀧神楽保存会が高知県代表として、広島県三次市で開催された第61回中国・四国ブロック民俗芸能大会に出演しました。
中四国の9県から、代表として選ばれた民俗芸能を伝承する団体が堂に会し、それぞれの芸能を披露しました。
永瀧神楽保存会、幣(のさ)の舞、双刃(もろは)の舞、扇芸(へぎ)の舞、獅子の舞を披露し、双刃の舞や扇芸の舞で、採り物(手に持つ道具)を持ったままでんぐり返りのしぐさをした際など、会場からは盛大な拍手が送られていました。



永瀧神楽保存会の皆さん



双刃(もろは)の舞



扇芸(へぎ)の舞



幣(のさ)の舞



獅子の舞